

第8章 その他

(1) 職員研修

地域保健事業関連研修は、保健所、及び保健福祉部を中心とした地域保健関係職員を対象に時代に即応した健康問題の知識の習得と専門性の向上を目的として実施している。保健所では、保健事業の円滑な展開と充実強化に有用なテーマを設定し、研修の企画及び運営を行っている。

2020 年度～2022 年度においては新型コロナウイルス感染症対応のため未実施。

2023 年度より、日ごろの業務を振り返り、成果や反省点、改善案などを整理し、それからの研究成果を発表・共有し、各課やライン等の業務内容や改善点の共有をはかり、自業務に活かしていく業務発表会形式で実施している。

【地域保健事業関連研修】

日時：令和 6 年 2 月 10 日 13：00-17:30

場所：職員研修所第 2 研修室

内容：業務発表（業務内容の成果、反省点、改善案またそれらから派生した研究内容など）

発表演題：24 題

(2) 学会発表

保健所業務を遂行する中で得た知見や課題等を整理し、科学的アプローチにより学会発表を行うことは、EBPM^{*}による今後の保健所での政策形成にもつながることから、公衆衛生学会等での発表を行っている。特に感染症（結核を含む）においては感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）第 15 条に基づくサーベイランスと第 16 条に基づく感染症の予防に必要な情報の公表となっている。

EBPM＝信頼性の高いデータや科学的根拠（エビデンス）に基づいて政策を立案・実施・評価する手法

【第 83 回 日本公衆衛生学会総会】

シンポジウム：EBPM を目指した官学連携の課題

演題名：神戸市における EBPM の取り組み～ヘルスケアデータ連携システム運用の狙いと課題～

発表者名：神戸市健康局 ○朱祐珍 森井文恵

神戸市保健所 楠信也

シンポジウム：地理的な困難性を伴う大規模災害への対応から：

能登半島地震から学ぶ広域避難対応

演題名：能登半島地震の保健活動から見た避難者支援のあり方

発表者：神戸市健康局 ○山崎初美 森井文恵

シンポジウム：対話が育む支援力、受援力

演題名：神戸から能登までの受援・支援経験における対話と復興

発表者：神戸市こども家庭局 山崎初美

演題名：神戸市における小学校フッ化物利用の全市展開に向けた取り組み

発表者名：神戸市保健所 ○楠信也 渡辺雅子 中村俊一 宗田由紀 岡島花江 藤山理世
神戸市健康局 朱祐珍

演題名：結核新登録患者のうち「登録中の再登録」で登録除外され再治療となった患者の検討

発表者：神戸市保健所 ○藤山理世 岡島花江 宗田由紀 中村俊一 朱 祐珍 千原三枝子
楠 信也

神戸市健康科学研究所 岩本朋忠 有川健太郎(会員外共同演者)

演題名：災害時の在宅被災者支援のための連携支援体制の一考察

発表者：神戸市こども家庭局 山崎初美

新潟県 ○相馬幸恵、浜松医科大学 尾島俊之、国立保健医療科学院 奥田博子、
静岡県 川田敦子、広島市 草野富美子、岩手医科大学 佐々木亮平

【近畿公衆衛生学会】

演題名：臨床心理士によるペアレントトレーニング事業

～「トリプルPに学ぶ前向き子育てプログラム」による児童虐待防止への取り組み～

発表者名：永井 友基（中央区役所保健福祉課）

演題名：コロナ流行時の感染症早期探知地域連携システム

ー感染症神戸モデルーの取り組みについての評価

発表者名：菅原 悠、福島 万里子、武藤 さくら、山本 文、森本 るみ、平山 順子（保
健所保健課）

演題名：神戸市における多職種連携による口腔機能管理の取り組み「訪問歯科診療・訪問校口
腔ケア必要度チェック票」の作成および利用状況調査

発表者名：渡辺 雅子、胡子 奈己、永吉 潤子、勝部 由紀子（神戸市保健所口腔保健支援
センター）、足立 了平（神戸市健康局歯科専門役）、楠 信也（神戸市保健所）

【第99回日本結核・非結核性抗酸菌症学会】

演題名：結核菌培養陽性の新登録患者のうち診断時にIGRA陰性であった患者の検討

発表者名：神戸市保健所 ○藤山理世 岡島花江 千原三枝子 楠 信也
神戸市健康科学研究所 有川健太郎 岩本朋忠

【第132回日本結核・非結核性抗酸菌症学会近畿支部学会・第103回日本呼吸器学会近畿地方会】

演題名：神戸市での活動性肺結核公費負担申請時の胸部CT画像所見の検討

発表者：○藤山理世 岡島花江 楠 信也（神戸市保健所）

（３）医師・歯科医師臨床研修受入

地域における保健・福祉等の施策や概要を的確に把握し習得することで、幅広い診療能力を備えた医師・歯科医師の養成に資することを目的として研修を行っている。

なお、医師については、臨床研修制度の見直しにより「地域保健」研修が必修ではなくなったため、2011 年度（平成 23 年度）以降、研修希望者が無い状態が続いていたが、2015 年度（平成 27 年度）（3 名）から受け入れを再開した。

・実施状況 （単位：人）

種別	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
医師	2	5	8	9	14	8
歯科医師	1	1	2	2	2	1

（４）実習生受入れ

市内の大学等、医療関係専門職養成校からの依頼を受け、専門職等を志す学生が、地域保健活動の実際を学び、必要な知識・技術・態度や倫理観を身につけることをねらいとして、実習生を受け入れている。

・実施状況 （単位：人または時間）]

実習生の目指す職種	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
医 師	24	0	0	17	24	24
医師以外合計	256	233	174	160	130	201
(内訳)保健師・看護師	203	180	119	105	69	153
助産師	9	9	7	8	7	8
管理栄養士	36	36	39	38	40	30
歯科衛生士	8	8	9	9	9	10
その他	0	0	0	0	5	0